



# 筑波大学一般講演会

## 「世紀の大ニュース『ヒッグス粒子』って何?」

2012年7月4日、宇宙の起源の謎に迫る未知の素粒子『ヒッグス』がいついに見つかったらしいというニュースが世界を駆け巡りました。今われわれがここに存在するのも、ビッグバン直後に、ヒッグス粒子が他の素粒子に質量を与えたおかげだとか。しかし、そう言われてもまったくピンと来ないことでしょう。それでも一般の人々の関心は高いと思います。しかも今回のヒッグス粒子発見では、日本の科学者、日本の技術が大きな貢献をしています。その中には筑波大学関係者もおります。

そこで、ヒッグス粒子を追い続けてきた筑波大学の研究者による、ヒッグス粒子研究の歴史とその正体に関する一般向け講演会を開催します。夏休み最後の土曜日、宇宙の謎に興味を持つ方々の好奇心を満たします。

日時：2012年9月1日（土）13：30～15：30

会場：筑波大学春日エリア 春日講堂

事前登録なし 定員250名（無料・先着順）

対象：原則、中学生以上（保護者同伴の場合、小学生も可）

### 【プログラム】

12:00 開場

13:30～14:10 講演1「素粒子の謎に迫る」

金 信弘（筑波大学数理物質系 教授）

14:10～14:50 講演2「ヒッグス — 質量はこうして生まれた」

原 和彦（筑波大学数理物質系 准教授）

14:50～15:30 質疑応答

15:30 終了予定

問合せ先：筑波大学広報室

TEL：029-853-2063

E-mail：kohositu@un.tsukuba.ac.jp

